

## 平成 28 年福島県沖を震源とする地震・津波に関する 1 か月後報告会を開催しました (2016/12/22)

テーマ：緊急調査、平成 28 年福島県沖地震・津波  
場所：東北大学災害科学国際研究所棟（仙台市青葉区）

2016 年 12 月 22 日（木）災害科学国際研究所において、平成 28 年福島県沖を震源とする地震・津波に関する 1 か月後報告会を『何が起き、何が出来て、何が課題として残ったか？』というテーマで開催しました。まず、当研究所の今村文彦所長より今回の地震に関する概要と災害科学国際研究所としての取り組みについて説明がありました。プログラムは、以下のとおりです。（太字が発表者）

1. 地震および地震動について：  
遠田 晋次 教授（災害理学研究部門）
2. 津波の観測・解析について：  
今村 文彦 教授（災害リスク研究部門）
3. 沿岸域での津波等の現地調査報告：  
サッパシー アナワット 准教授（災害リスク研究部門）  
ローバー フォルカ 助教（災害リスク研究部門）  
山下 啓 助教（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）
4. 避難実態・各地での対応について：  
安倍 祥 助手（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）

司会進行：蝦名 裕一 准教授（人間・社会対応研究部門）

本報告会には、報道関係者を含む約 80 名が参加し、質疑応答や意見交換が活発に行われました。当研究所では、今後も調査・分析などの結果を随時、発表してまいります。

平成 28 年福島県沖を震源とする地震・津波に関する特設ページ

[http://irides.tohoku.ac.jp/topics\\_disaster/2016fukushima-eq.html](http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016fukushima-eq.html)

報告会発表資料掲載ページ

<http://irides.tohoku.ac.jp/event/2016fukushimaeq.html>



今村文彦所長



遠田晋次教授



サッパシー・アナワット准教授



山下啓助教



安倍祥助手



会場の様子

文責・写真：鈴木通江（広報室）